

教育研究審議会議事録

平成25年度第11回公立大学法人宮城大学教育研究審議会	
開催日時	平成26年3月20日(木) 14:30~18:00
開催場所	大和キャンパス本部棟3階 大会議室
出席者	西垣、河端、高山、津志田、大庭、大和田、園部、吉田、蒔苗、齋藤、笹井、森山、小嶋、徳永、山田、フェラン、小野(秀)、千葉、武田、風見、富樫、井上、桑名、坂本、石田、真覚、田邊
欠席者	小野(幸)、西川
事務局	伊藤、成田、鹿野、蜂谷、狩野、首藤、寺嶋、佐藤
議事概要	<p>1 教育研究審議会会議録について</p> <p>(1) 平成25年度第10回審議会議事録について 原案どおり全会一致で承認された。</p> <p>(2) 平成25年度第11回審議会議事録署名人の指名について 議事録署名人に森山委員が指名された。</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 規則及び規程の改正について 資料1 河端副理事長から、関係規則・規程等の各条項の整合性を見直し、以下のとおり一部改正を行う旨の説明がされ、承認された。</p> <p>①公立大学法人宮城大学基本規則の一部改正について 【改正の趣旨】これまでの関係規程等の改正および大学運営の実情を踏まえ、規定体系の見直しや文言の整理を行うほか、審査会、各センター、全学委員会に係る規定を整備するとともに、運営に関する部分はそれぞれ「運営規程」を整備するなど全般的に見直しを図る。</p> <p>②公立大学法人宮城大学学部教授会通則の一部改正について 【改正の趣旨】これまでの関係規程等の改正および大学運営の実情を踏まえ、文言修正、見直しなどの整理を行うもの。</p> <p>③公立大学法人宮城大学研究科教授会通則の一部改正について 【改正の趣旨】これまでの関係規程等の改正および大学運営の実情を踏まえ、文言修正、見直しなどの整理を行うもの。</p> <p>④公立大学法人宮城大学教育研究審議会規定の一部改正について 【改正の趣旨】これまでの関係規程等の改正および大学運営の実情を踏まえ、文言修正、見直しなどの整理を行うもの。</p> <p>⑤公立大学法人宮城大学全学委員会規程の一部改正について 【改正の趣旨】「公立大学法人宮城大学基本規則」の改正に伴い、所要の改正を行うとともに規程の名称を「公立大学法人宮城大学全学委員会運営規程」に改めるもの。</p> <p>⑥公立大学法人宮城大学評価委員会規程の一部改正について 【改正の趣旨】「公立大学法人宮城大学基本規則」の改正に伴い、所要の改正を行うとともに規程の名称を「公立大学法人宮城大学評価委員会運営規程」に改</p>

教育研究審議会議事録

めるもの。

⑦公立大学法人宮城大学広報委員会規程の一部改正について

【改正の趣旨】「公立大学法人宮城大学基本規則」の改正に伴い、所要の改正を行うとともに規程の名称を「公立大学法人宮城大学広報委員会運営規程」に改めるもの。

(2) 学則及び食産業学部履修規程の一部改正について

資料 2

齋藤学部長から、各学科の専門性を深めた教育を確保するため、食産業学部履修規程別表において専門科目の修得すべき卒業要件単位数を明確にすること、併せて、学則別表（食産業学部各学科）の授業科目配置順を変更することが説明され、承認された。

(3) 学則及び看護学研究科履修規程の一部改正について

資料 3

吉田研究科長から、看護学研究科博士前期課程における分野・領域を現行の学部教育に連動させるとともに博士後期課程につなげるため、4 分野 11 領域に再編成し、新たに 1 領域（災害看護学）を新設することから、カリキュラムの再編成と科目の見直しを行うなどの履修規程の改正と学則別表の授業科目に所要の変更を行うことが説明され、承認された。

(4) 平成 26 年度客員教授について

資料 4

大庭理事から、概要の説明があり、引き続き、各学部長から候補者一人ひとりの説明があり、推薦取り下げのあった 1 人を除く候補者 22 人について承認された。なお、客員教員の称号授与期間は 1 年間である。

(5) 平成 26 年度臨床教授等について

資料 5

看護学部臨床教授等の称号付与規程に基づき、推薦者の吉田看護学部長から 7 人の候補者について説明があり、承認された。称号を付与する期間は平成 26 年 4 月 1 日から 1 年である。

(6) 平成 26 年度計画について

資料 6

河端副理事長から、平成 26 年度計画について説明された。平成 26 年度は現中期計画の最終年度であり、次期中期計画作成を意識した内容等となっていることや、平成 25 年度計画に比べ計画項目を 250 から 194 項目に集約したことなどが説明され、承認された。

(7) 平成 26 年度当初予算について

資料 7

大和田理事から、平成 26 年度当初予算（案）の概要と、決定手続き等が説明され、承認された。当初予算（案）は平成 26 年 3 月 26 日開催の理事会へ付議される。

(8) 学長選考会議委員の選出について

資料 8

河端副理事長から、定款に基づき本審議会から学長選考会議委員 3 人を選考する必要がある旨説明があり、協議の結果、次の 3 名を選出した。

吉田俊子看護学部長、徳永幸之学生部長、齋藤満保食産業学部長
併せて、次期学長選考スケジュールについて説明された。

教育研究審議会議事録

3 報告事項

(1) 各種報告

①大学評価(認証評価)結果について

河端副理事長から、大学基準協会による大学評価(認証評価)の結果、大学基準に適合していると認証されたことが報告された。認定の期間は平成33年3月31日までである。なお、評価結果では努力課題も示されており、平成29年度までの回答が必要であるが、次期中期計画の前には改善を行いたいことなどが報告された。

②平成26年度入学者選抜試験の実施状況について

笹井副学長から、平成26年3月20日現在の入学者選抜試験の実施状況が報告された。一般選抜では前期、後期を合わせて実質競争倍率が4.0倍(前年度3.8倍)であったことなどが報告された。

③平成26年度入学式について

徳永学生部長から、次年度初めて学外開催となる4月3日「東京エレクトロンホール宮城」での平成26年度入学式及び学生生活オリエンテーションの実施概要等が報告された。

④就職内定状況について

田邊キャリア開発センター長から、3月19日現在の内定率が報告された。看護学部・食産業学部は内定率が100%、事業構想学部は93.6%であり全体では97%となったことが報告された。

⑤TOEICスコアの推移について

共通教育運営委員会語学部会弓谷教授から、平成23年7月から平成26年1月までTOEICスコアの推移について報告された。平成26年1月に実施したTOEICにおいて、4学科で過去最高の平均点となったことの要因について、新カリキュラムで教科書を変更したことやEラーニング導入の効果などが考えられることなどが説明された。

⑥会議・委員会等におけるペーパーレス化について

山田総合情報センター長から、ペーパーレス化の対象会議・委員会、及び導入スケジュールについて報告され、平成26年3月から順次導入し、平成26年9月の完了を目指していることから、関係者への協力の依頼がなされた。

③その他

・シンポジウムの開催について

森山副学長から、3月22日に開催する「人びとの関係と暮らしから生まれるコミュニティづくり」をテーマとする大学間連携共同教育推進事業シンポジウムの概要が説明され、併せて、教職員のシンポジウム参加について依頼がなされた。

・フランス・ロンドン訪問について

フランスのNPO市民の絆-SPF(パリ)及びメトロポリタン大学(ロンドン)との交流・連携を協議するため、高山教育担当理事を団長に3月23日から

教育研究審議会議事録

3月30日まで現地を訪問する計画であることが報告された。

(2) 教授会審議状況報告

①看護学部（吉田学部長）

2月26日に第12回教授会を開催し、4年生の後期成績判定及び卒業判定、震災で亡くなった学生に対する卒業証書の授与、予算の執行等について審議したことなどが報告された。

また、3月13日に第13回教授会を開催し、後期成績判定及び進級判定、科目等履修生の受入れ、学生の身分（退学者1名、休学者5名）、副学部長候補者の指名等について審議したことなどが報告された。

②事業構想学部（蒔苗学部長）

2月26日に第11回教授会（臨時）を開催し、平成25年度卒業判定、「知事への提言」投稿に対する学部対応などについて審議したことが報告された。

また、3月13日に第12回教授会を開催し、将来構想、副学部長候補者の指名、特任教授の任用、学生の身分（退学者2名、休学者5名）等について審議したことが報告された。

③食産業学部（齋藤学部長）

2月27日に第13回教授会（臨時）を開催し、後期成績確認、卒業認定、特別卒業証書の授与等について審議したことが報告された。

また、3月14日に第14回教授会を開催し、副学部長候補者の指名、特任教員の任用、学生の身分（休学者4名）等について審議したことなどが報告された。

④看護学研究科（吉田研究科長）

3月13日に第12回教授会を開催し、平成25年度後期成績判定、長期履修許可、看護学研究科学位論文審査要綱の一部改正、学位論文作成要領、学生の身分（休学者3名、復学者1名）等について審議したことなどが報告された。

⑤事業構想学研究科（蒔苗研究科長）

2月26日に第11回教授会（臨時）を開催し、学位（修士）論文審査結果及び最終試験結果、修了判定などについて審議したことが報告された。

また、3月13日に第12回教授会を開催し、副研究科長候補者の指名、後期成績判定、平成26年度指導教員、学生の身分（退学者1名、休学者7名、復学者1名）等について審議したことなどが報告された。

⑥食産業学研究科（齋藤研究科長）

2月27日に第12回教授会（臨時）を開催し、後期成績確認、修了認定、平成26年前期研究生について審議したことが報告された。

また、3月14日に第13回教授会を開催し、副研究科長候補者の指名、学位論文審査基準、長期履修許可等について審議したことなどが報告された。

(3) 学内委員会等報告

①評価委員会（河端委員長）

3月20日に第6回委員会を開催し、教員資格審査3件を承認、平成26年度

教育研究審議会議事録

計画を審議したことなどが報告された。

②学務入試委員会（笹井委員長）

3月5日に第10回委員会を開催し、食産業学部履修規程、看護学研究科履修規程の一部改正、平成26年度オープンキャンパスの実施計画等について審議したことが報告された。また、大学間連携共同教育推進事業（コミュニティ・プランナープログラム）の単位認定や復興大学のPR等を協議したことが報告された。

③学生生活委員会（徳永学生部長）

3月20日に臨時委員会を開催し、平成26年度入学式、学生生活オリエンテーション、新入生交流会、平成25年度日本学生支援機構奨学金の適格認定レベルの引き上げ、平成26年度「MYサポーターズデイ」の開催（大和キャンパス5月24日、太白キャンパス5月31日）について審議したことなどが報告された。

④研究委員会（津志田委員長）

2月26日に第8回委員会を開催し、平成25年度研究監査の結果、一般研究費の算定方法、国際学会等発表旅費申請などについて審議したことが報告された。

⑤広報委員会（河端委員長）

3月10日に第10回委員会を開催し、広報委員会規程の一部改正、平成26年度年度広報計画（案）、6月の広報計画（案）についての審議ほか、2015年度版大学パンフレット作成スケジュールについて協議したことなどが報告された。

⑥共通教育運営委員会（高山委員長）

3月13日に第10回運営委員会を開催し、特任教員、非常勤教員、平成26年度時間割案等について審議したことなどが報告された。

⑦国際交流・留学生センター運営委員会（フェランセンター長）

3月14日に第10回運営委員会を開催し、「飛び立て留学 JAPAN」の概要、JASSOの奨学金採択などについて協議したこと、また、リアル・アジア第4弾は計画どおり無事帰国したことなどが報告された。

この議事録は、平成25年度第11回公立大学法人宮城大学教育研究審議会議事録である。

平成26年 4月16日

公立大学法人宮城大学教育研究審議会 議長 西垣 克

議事録署名人 森山 雅幸